

ヨコハマラバー(タイランド)カンパニー LTD. CSRレポート

事業内容: 油圧ホースアッセンブリーと販売、自動車窓枠用シーリング材の生産・販売
敷地面積: 25,000m²
従業員数: 114名(2010年3月現在)
所在地: Eastern Seaboard Industrial Estate, 64 moo 4 Tombol Pluakdaeng, Ampur, Rayong 21140, Thailand
TEL: +66-38-954-625



社長ご挨拶



若林 正

ヨコハマゴムタイランドは、タイの首都バンコクから南東130kmに位置するESIE工業団地に工場があり、主に自動車用油圧ホース配管、自動車用ウィンドウシールドシーラント、建機用高圧ホースを製造し東南アジア一円に留まらず、インドやヨーロッパまで供給しています。特に、タイ国内における横浜ゴムの自動車用パワステホースならびに建機用高圧ホースの自動車・建機メーカー向け商品のシェアはほぼ100%を誇り、地域に大きく貢献しています。

工場における大気、水質、騒音などの環境面では、国の基準よりも厳しい工業団地の基準に対して、継続的な改善によりクリアしています。環境面における今後の当社の課題としては、産業廃棄物の再利用率向

上があり、産廃埋め立て量のゼロエミッション化を強力に進めています。

また、当社工場は安全と品質を第一のモットーとしており、高質な品質管理はもとより、従業員110人全員が一丸となって安全活動を展開しています。その結果、約5年間完全無事故・無けがを継続しており2009年度には、さらなる労働安全衛生水準の向上のためOHSAS18001を取得いたしました。

環境への取り組み

2010年度環境方針

- (1) 環境関連法令の遵守を基本とする。
- (2) 環境汚染に関し、大気や水質への汚染防止に努める。
- (3) 環境方針と環境教育を全ての従業員と地域で共有する。
- (4) EMSの開発・維持・改良とISO14001の遵守に努める。
- (5) エネルギーと環境資源を大切に使用する。
- (6) 横浜ゴムグループの中期経営計画「GD100」の環境対策に従い、
 - ・環境経営を継続的に改善します。
 - ・地球温暖化防止に取り組みます。
 - ・持続可能な循環型社会実現に貢献します。

環境データ (年度は1月～12月)

項目	2007年度	2008年度	2009年度	
廃棄物発生量(t)	299	223	217	
埋立率(%)	—	54.5	50.6	
エネルギー使用量 (原油換算:千kl)	電力	0.08	0.08	0.30
	燃料	0.09	0.14	0.14
	合計	0.17	0.22	0.44
温室効果ガス排出量(千t-CO ₂)	0.27	0.32	0.93	
水使用量(千m ³)	4.9	7.0	11.3	
有機溶剤排出量(t)	—	6.70	5.7	

※2009年度の温室効果ガス排出量の算定は、日本の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用。

安全への取り組み

「安全はすべてに優先する」を旗印に、無事故・無けがの継続のために、5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)活動や全従業員参加の朝のラジオ体操など、安全につながるさまざまな活動を実施しています。

災害については、火災に重点を置き、毎年丸一日をかけて火災訓練を実施しています。



ラジオ体操



火災訓練

2009年度にいただいたご意見

2009年度に寄せられたご意見は、特にありませんでした。



2009年は、9月に植樹祭を行い、工場内の敷地に合計3,500本の植樹を行いました。参加者は、従業員とその家族、地域コミュニティの代表者や地域住民の皆さま、地元小学校の生徒、ヨコハマラバー(タイ)のあるイースタンシーボード工業団地の企業の方々など約350人にのぼりました。



参加従業員の声 : Nongnuch Meerot

私たちの拠点では、毎回の植樹祭に、従業員のほぼ全員が参加しています。この活動は、参加者の環境意識を高めるだけでなく、みんなでお互いに協力し合うことで良い人間関係を築くことができる活動だと思います。